



地下鉄短信 (第286号) 平成29年4月6日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 1. 「平成29年度エコレール等補助事業説明会」の開催

1. 「平成29年度エコレール等補助事業説明会」の開催

平成29年度エコレール等補助事業説明会を4月5日(水)に当協会5階会議室で開催し、15地下鉄事業者、30名が参加しました。

平成29年度のエコレール等補助事業は、平成28年度の「省CO2型社会の構築に向けた社会ストック対策支援事業」がスキーム変更等により、「公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業」と「業務用施設等における省CO2促進事業」とに再構築されます。これにより、従来のエコレールラインプロジェクト事業は補助対象設備別に二分割され、車両に対しての先進的な省エネ機器の導入



については、「公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業」内に設けられる「エコレールラインプロジェクト事業(予算額975百万円)」が適用になり、駅舎等の鉄道施設における省CO2性の高い機器の導入は、「業務用施設等における省CO2促進事業」内に設けられる「既存建築物等の省CO2改修支援事業(予算額1500百万円の内数)」が適用となります。

本説明会では、国土交通省鉄道局都市鉄道政策課の遠藤(前)課長補佐、同課高橋専門官及び山岡指導係長を講師に迎え、スキーム変更の概要及び両事業の補助金執行団体、申請対象者、補助対象設備、申請要件等についてご説明いただくとともに参加事業者と質疑応答しました。

その中で平成29年度の補助金執行団体(基金補助事業者)については、「エコレールラインプロジェクト事業」は従来と変わらず「低炭素社会創出促進協会」の担当となりますが、「業務用施設等における省CO2促進事業」については、「静岡県環境資源協会」が担当となりました。また、補助対象設備については、「エコレールラインプロジェクト事業」では、蓄電池車両、次世代半導体素子(SiC素子)を用いたVVVFインバータ制御装置(中小鉄軌道事業者に限り、絶縁ゲート型バイポーラ・トランジスタ素子(IGBT素子)を用いたものも対象に含める)、回生電力貯蔵装置、駅補助電源装置及び車両照明のLED化等、従来の補助対象設備に変更はなく、



一方、「既存建築物等の省CO₂改修支援事業」の補助対象設備については、鉄・軌道関連施設（駅に付随する建築物・工作物、トンネル、車両基地、運転指令所等）に導入される省CO₂型設備としており、従来のLED照明等に加えて空調設備等へ対象拡大が期待されます。

なお、同支援事業では「格付投資情報センター」、「日本格付研究所」の評価が共に「A」以上の事業者は申請対象外となりました。

また、平成29年度の両事業には、新たに申請要件等が付加され「エコレールラインプロジェクト事業」の申請では、CO₂を1トン削減するコストが50,000円以下の事業、「既存建築物等の省CO₂改修支援事業」では、事業実施前後において、15%以上のCO₂削減効果が期待される事業に限るとしております。

両事業の概要説明の後、参加事業者から公募、採択、交付決定等の補助事業スケジュールや平成28年度に採択されている複数年事業への対応、補助対象設備、申請要件等について質疑応答があり、説明会を終了しました。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp